

大空に

輪島市立東陽中学校(第10号)

令和8年1月29日(木)

校訓「自主」「忍耐」「友愛」「健康」

ホームページにもアップしています⇒



「一日一日の積み重ね」



「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」

今年も、3学期始業式でこの言葉を生徒に伝えました。この言葉のとおり、あと数日で1月は「行って」しまいます。3学期は、各学年のまとめと新年度に向けての準備の時期。そして、何より、3年生にとっては進路を決める重要な節目の時期となります。限られた時間を有効に使い、3月13日の卒業の日を晴れやかに迎えてほしいと願っています。

また、今年度末に東陽中学校と町野小学校が閉校し、新年度から義務教育学校として「東陽小中学校」が開校することとなりました。現在、「閉校記念イベント」や「閉校式」、そして「開校式」等の準備も保護者・地域の皆様方のご協力をいただきながら行政と連携して進めているところです。(詳細につきましては、わかり次第あらためてお知らせいたします。今しばらくお待ちください。)

寒波の到来により、先週末は部活動を中止しましたが、今のところ、学校生活への影響はなく、生徒も元気に過ごしています。生徒会の学習担当が主催した「ビブリオバトル」では、生徒・教職員がグループごとにお薦めの本を紹介し合いました。

活動を振り返っての生徒の感想は、「より伝えられるような工夫ができた」「トーク力が鍛えられたと思う」「新しい本に出あえた」「お薦めの本をたくさん知ることができて楽しかった」「自分の興味がなかった本も知ることができから、別の分野の本を読む機会になった」というものでした。ほんの20分足らずの時間でしたが、充実したひと時を過ごすことができたようです。4つのグループの紹介の様子を見せてもらった私は、一気に17冊の本と出あうことができました。ありがとう!!私も、以前紹介した本「100歳のジャーナリストからきみへ」*から武野 武治(むの たけじ)さんの言葉を一つ、紹介しますね。「きょう一日をしっかりと生きる。すると一生に筋(すじ)が通る。一生は一日一日の積み重ねです。」

生徒会主催の「球技大会」で、寒い中、これもまた、生徒・教職員と一緒にバドミントンやテニスを楽しむ姿が見られました。「やりたいことに全力投球して生活すること(略)その一日一日が、君の人生をつくっていきます。」東陽中生としての最後の日々を「全力投球」する皆さんを、応援しています。

*むの たけじ「100歳のジャーナリストからきみへ[生きる]」(株)汐文社

校長 柿本 二美代

～1月の行事予定～

30日(金) 学校公開③、中学校入学説明会
私立高校一般入試



～2月の行事予定～

10日(火)「出張校内カフェ」
12日(木)・13日(金) 3年生期末テスト
18日(水) 公立高校願書出願開始(～2/24)
27日(金) 公立高校志願変更開始(～3/3)



～3月の行事予定～

1日(日) 英語検定2次
3日(火)「出張校内カフェ」
10日(火) 公立高校学力検査(1日目)
11日(水) 公立高校学力検査(2日目)
12日(木) 卒業式予行練習
13日(金) 第16回卒業証書授与式
18日(水) 公立高校合格発表
21日(土)「町野小・東陽中 閉校記念イベント」
24日(火) 3学期終業式・修了式
町野小・東陽中「閉校式」(14:00～)



※3/21(土)「閉校記念イベント」及び

3/24(火)「閉校式」につきましては、詳細がわかり次第、あらためてお知らせいたします。

～緊急時の安否確認について(お願い)～

甚大な自然災害等の緊急時には、次の3点について学校まで安否確認の連絡をお願いします。

- ☐ 本人・家族が無事か
- ☐ 現在どこに避難しているか
- ☐ 家屋の被害状況

- ・ネットがつながる場合 → 全校クラスルームに入力する。 or テトルの欠席連絡に入力する。
- ・ネットにつながらない場合 → 学校(0768-32-0834)に電話する。
(業務時間以外は、学校長の携帯電話に転送されます。)
- ・ネットも電話もつながらない場合 → 人伝えに学校の職員に伝える。

※10月19日(日)の避難訓練をふまえて、追加修正しました。



R7 第2回学校関係者評価委員会より【最終評価】

1月27日（火）に、「第2回学校関係者評価委員会」を行いました。保護者の皆様には、お忙しい中、アンケート回答にご協力をいただきありがとうございました。アンケート結果をもとに委員の皆様からいただきましたご意見等を参考にし、今年度の取組を今一度振り返り、来年度、新たに開校される義務教育学校の取組につなげていきたいと思っております。



… プラス 5 ポイント以上



… マイナス 5 ポイント以上

空欄… ± 5 ポイント以内

【アンケート結果 R7 12月実施】保護者アンケート			
	評価の観点	全体平均	R7 7月比較
①	子どもは、毎日睡眠を7時間30分程度とっている。	37.5%	↓
②	子どもは、朝食を食べている。	100.0%	
③	子どもは、自分から挨拶ができています。	100.0%	
④	子どもは、家庭学習の習慣がある。（1年70分 2年80分 3年90分）	62.5%	↓
⑤	子どもは、決まりを守って生活している。（服装や自転車の乗り方等）	100.0%	
⑥	子どもは、家の手伝いをしている。	75.0%	↓
⑦	子どもは、喜んで学校に行っている。	87.5%	
⑧	子どもは、将来の夢や希望を持っている。	75.0%	↑
⑨	学校は、子どもの学力向上に努力している。	75.0%	↑
⑩	学校は、学校行事が充実するように努力している。	75.0%	↑
⑪	学校は、子どもの表現の場を大切にしている。	62.5%	↓
⑫	学校は、生徒理解に努め、適切に対応している。	62.5%	
⑬	学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	62.5%	↓
⑭	学校は、通信等（学校、学年、部活動、保健など）で方針や生徒の様子を分かりやすく知らせている。	87.5%	↓
⑮	保護者として、学校からの通信（学校、学年、部活動、保健等）に目を通してしている。	100.0%	
⑯	保護者として、良いことについては、ほめること（認める）を大切にしている。	87.5%	
⑰	保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	100.0%	
⑱	保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内ルールを作っている。	87.5%	↑
⑲	保護者として、輪島市ルール（夜9時以降はしない）やSNS・ゲーム・インターネットの家庭内ルールを守らせている。	62.5%	
⑳	保護者として、行事等があるときは都合をつけて参加しようとしている。	100.0%	↑

【アンケート結果 R7 12月実施】生徒アンケート			
	評価の観点	全体平均	R7 7月平均
①	学校は楽しい。	87.5%	
②	毎日睡眠を7時間30分程度とっている。	75.0%	
③	朝食を食べている。	100.0%	
④	自分から挨拶ができています。	100.0%	
⑤	家で手伝いをしている。	87.5%	↓
⑥	将来の夢や希望を持っている。	75.0%	↑
⑦	毎日、学年目標（1年:70分 2年:80分 3年:90分）の家庭学習に取り組んでいる。	75.0%	
⑧	毎日の課題や宿題を提出している。	75.0%	↓
⑨	目標に向かい、計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。（テスト期間中を含む）	100.0%	↑
⑩	授業の課題を意識し、問題や活動に進んで取り組んでいる。	100.0%	
⑪	授業では、自分の考えが相手に伝わるように表現を工夫している。	100.0%	
⑫	授業のまとめを自力で書くようとしている。（数→練習問題や振り返り問題を自力で解こうとしている。英→学んだ表現を使って、英文を書くようとしている。）	100.0%	
⑬	授業の振り返りをするのが、学びの確認や次への学習意欲につながっている。	87.5%	
⑭	部活動で自分は成長できている。	75.0%	↓
⑮	委員会活動や学級活動で、企画・運営することは楽しい。	87.5%	↓
⑯	集会等で、自分の考え（意見・質問・感想等）を伝えている。	87.5%	↓
⑰	物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある。	100.0%	↑
⑱	授業や行事、生徒会活動では失敗を恐れずに挑戦している。	75.0%	↓
⑲	自分にはよいところがある。	62.5%	
⑳	ほめられたり認められる時がある。	87.5%	
㉑	ゲーム、インターネットは宿題等とのバランスを考えて使用している。	100.0%	↑
㉒	東陽中学校の生徒であることを誇りに感じる。	100.0%	↑
㉓	地域の人達はやさしく、深い絆を感じる。	100.0%	↑
㉔	将来（いつか）地元で貢献したいと思う。	62.5%	

学校関係者評価委員会、最終報告です。評価委員の皆様からいただいた主なご意見等を紹介いたします。

【ご】…ご意見 【質】…ご質問 【学】…学校から

(1) 確かな学力の向上

【ご】家庭学習について、毎日の宿題等は必要か。目標時間も設定されているが、自分のためにやることなので、率先して自分からやっていくようにするためにも、「何のために」学習するのか目的を伝えることを重視してほしい。

(2) 主体的に行動できる生徒の育成

◆よりよい「挨拶」について

【学】声の大きさ、「自ら」という点ではよくなったが、相手を見ない、ただ挨拶をしているだけという様子も見られる。

【ご】挨拶の仕方について指導することだけでなく、「何のために」挨拶するのかを意識させることが大切。「相手も自分も気持ちがいい」など、本人も意識する必要があることを伝えてほしい。

(3) 保護者・地域との絆

◆「学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である」について

【質】生徒は自分から相談に来るのか。

【学】自分から相談に来る生徒もいるが、生徒の様子を見て教職員の方から声をかけることもある。生徒の様子や変化について共有し、場合によっては、家庭に連絡をとることもある。

◆生徒アンケート「将来地元で貢献したいと思う」の項目が継続して伸びていないことについて

【質】教職員アンケート「地域でのボランティアや行事活動が充実するように取り組んでいる」の結果が高いが、具体的にはどのようなことに取り組んでいるのか。

【学】総合的な学習の時間の中で地域のことを調べたり、実際に出かけて復興の様子を見たり、高校生の復興についての説明を聞いたりするなど、フィールドワークを行い地域がどのように動いているか、復興の様子を学んでいる。

来年度から市全体で創造的復興教育をスタートする。その中で、自分が地域に残る・残らないに関わらず、どのようなことができるかを考えていく。

【ご】貢献の仕方については復興に関わる人もいるので、こういう貢献の仕方もあるのだと気付くきっかけにもなる。創造的復興教育の内容を PTA にも発信してもらえれば、保護者が頑張っている姿も示すことで協力もできる。連携を進めていけたらと思う。

【ご】少人数なので、アンケートの結果も上下するが学校としてよく取り組んでいる。「将来地元で貢献したいと思う」という項目が、今後、伸びていけばよいと思う。